

狛江の地下水・水道水に有機フッ素化合物！

PFAS

血液検査結果

狛江市民 21 人の結果 (詳しくはウラ面)

- 「PFOA+PFOS」:平均 13.1ng/ml
 - 「4PFAS 合計」:19.1ng/ml
 - 米国健康指針値 20ng/ml 以上は 7 人(33%)
 - 全国調査の約 2 倍
 - 多摩地域調査(650 人、5 月公表)より約 2 割低い
- 環境省は PFAS 健康影響についての研究本格化の方針
- ◆狛江市内井戸水調査(市内 5 カ所)は、結果待ち中
 - ◆調布市で井戸水独自調査(115 カ所)予算化
 - ◆武蔵野市で学校の災害用井戸に浄水器設置
 - ◆立川市でも新市長が独自調査を表明

発がん性、脂質異常症や、子どもの成長の遅れ、生殖機能への影響などが指摘される PFAS。米軍横田基地で使われてきた泡消火剤などに含まれ、地下水汚染が広がっています。

PFAS 汚染を明らかにする狛江の会

(問い合わせ : 重国たけし 090-1775-9052 sigeny@nifty.com)

狛江市民PFAS血漿中濃度調査結果

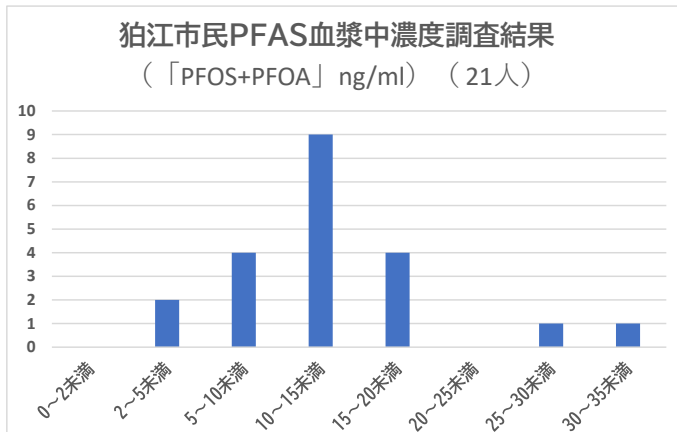
(21人平均値、ng/ml)(2023年9月公表、採血は6月)

	PFOS	PFHXS	PFOA	PFNA	PFOS+PFOA	4PFAS	(ng/ml)
平均	9.2	3.1	4.0	2.9	13.1	19.1	
分布	2.2~21.5	0.4~18.4	0.9~9.7	0.7~5.1	2.8~31.2	4.6~53.2	

※米国アカデミーのガイドラインでは、PFASの血漿中濃度(1mlあたり)が、**20ng(ナノグラム)**を超えるかどうか医学上の指針とされている。ドイツでは、「ヒト生物モニタリング委員会HBM-II」で、PFOSで20ng/ml、PFOAで10ng/mlが指針とされている。

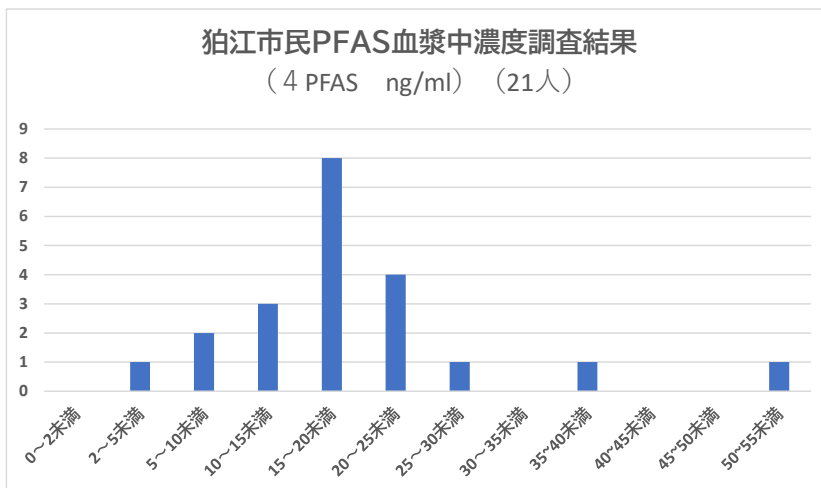
「PFOS+PFOA」値の分布

ng/ml	人
0~2未満	0
2~5未満	2
5~10未満	4
10~15未満	9
15~20未満	4
20~25未満	0
25~30未満	1
30~35未満	1



4PFAS値の分布

ng/ml	人
0~2未満	0
2~5未満	1
5~10未満	2
10~15未満	3
15~20未満	8
20~25未満	4
25~30未満	1
30~35未満	0
35~40未満	1
40~45未満	0
45~50未満	0
50~55未満	1



PFAS血漿中濃度結果平均値(ng/ml)比較

	PFOS	PFHXS	PFOA	PFNA	PFOS+PFOA	4PFAS	
狛江市 (21人、23年9月公表)	9.2	3.1	4.0	2.9	13.1	19.1	
多摩地域 (650人、23年5月公表)	10.8	5.3	3.8	3.5	14.6	23.4	
国分寺市 (84人)	16.7	17.7	6.5	4.1	23.2	45.0	最も高い
立川市 (47人)	14.2	4.7	4.7	5.0	19.0	28.6	
府中市 (47人)	10.5	6.7	3.4	3.3	13.9	23.9	
調布市 (21人)	10.2	3.9	4.0	3.8	14.2	21.9	
環境省 (119人、21年調査)	3.9	1.0	2.2	1.6	6.1	8.7	

*) 環境省調査以外は「多摩地域の有機フッ素化合物汚染の実態を明らかにする会」と京都大学大学院医学研究科環境衛生学分野・原田浩二准教授、小泉昭夫名誉教授の共同研究による(2022年11月~2023年3月採血)